

単元名 くわしく かこう

配当時間 10時間

- 単元の目標 (1) 助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方、かぎ（「」）の使い方を理解して、文や文章の中で使うことができる。
 (2) 経験したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、書き表すことができる。
 (3) 知らせたいものを観察し、見付けたことを文章にして伝えようとする。

標準的な展開例

01010207_001

【教材名】しらせたいな、見せたいな

(下 P. 17～P. 20)

【準備等】知多の友、短冊カード

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1～2 「しらせたいな、見せたいな」を読んで、学習の見通しをもつ。 ★学校にいる生き物や見付けたものをよく見て、文に書こう。 ○教科書 (P. 17～20) を読んで、学習の見通しをもつ。 ○家の人に知らせたいことについて、題材集めをする。</p> <p>○カードや文章の書き方を知る。</p> <p>○カードの書き方の練習をする。</p> <p>3～4 知らせたいことを決めて、カードに書く。 ★家の人に知らせたいことを決めて、カードに書こう。 ○集めた題材の中から、何について書くかを決める。 ○知らせたいことをカードに書く。</p> <p>5～8 カードを基にして、文章を書く。 ★家の人に知らせる文章を書こう。 ○見付けたことをどのように文章にするのかを考える。</p> <p>○見付けた一つ一つの事柄を文章にして、短冊カードに書く。</p> <p>○短冊カードに書いたことをどのような順序で文章にするのか考える。 ○考えた順序に沿って、文章を書く。</p> <p>9 書いた文章を声に出して読み返す。 ★書いた文章を見直して、よりよいものにしよう。 ○教科書 (P. 20) を参考にして、書いた文章を読み返し、句読点や助詞の「は」、「を」及び「へ」を正しく使っているか確認する。</p> <p>10 書いた文章を基に、交流する。 ★文章を読み合って、感想を伝え合おう。 ○発表会をする。</p> <p>○家の人に読んでもらい、感想を書いてもらう。</p>	<p>・本単元は、「知多の友」に掲載されているので、十分に活用したい。</p> <p>・教科書や知多の友 (P. 26) の挿絵を参考にして題材をいくつか挙げさせ、知多の友 (P. 28～29) に書き込ませる。 【評】題材を集める活動を通して、見付けたことを文章にして伝えようとする「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <p>・知多の友 (P. 30) を利用して、カードに書く練習をし、色・形・様子などを観察して書けばよいことに気付かせる。</p> <p>・教科書 (P. 18) の例を参考にして、知らせたいことを知多の友 (P. 31) のカードに書かせる。 【評】カードに書く活動を通して、経験したことなどから書くことを見付ける「思考・判断・表現」を評価する。</p> <p>・教科書の文章 (P. 19) とカード (P. 18) を見比べ、カードに書いた内容を文章にしていくことを知らせる。 ・カードの絵や単語を手がかりにして、短冊カードに一文ずつ書かせる。 ・短冊カードは実態に応じて、まず目付きのものを準備するとよい。 【評】短冊カードを書く活動を通して、語と語や文と文との続き方に注意しながら書き表す「思考・判断・表現」を評価する。</p> <p>・教科書 (P. 19) とカード (P. 18) を見比べて書く順序を考えさせるときの参考にさせる。 ・知多の友 (P. 32～33) に書かせる。 【評】知らせたいものをカードに書く活動を通して、必要な事柄を集めたり確かめたりする「思考・判断・表現」を評価する。 【評】カードに書く活動を通して、助詞やかぎ（「」）、句読点を文や文章の中で正しく使う「知識・技能」を評価する。</p> <p>・知多の友 (P. 34) を見て、句点や文字が正しく書けているかを確認させる。 【評】自分が書いた文章を読み返す活動を通して、間違いを直したり、語と語や文と文との続き方を確かめたりする「思考・判断・表現」を評価する。</p> <p>・友達の書いた文章を読み、感想を伝え合い、互いの文章のよいところを認め合うようにさせる。 ・家に持ち帰らせ、知多の友 (P. 35) に家の人からの励ましの言葉や感想を書いてもらうよう</p>

○「教科書」(P.20)の「たいせつ」にある，文書を読み返すときの観点を確認し，学習の振り返りをする。

うに依頼する。

【 備 考 】